大船渡市消防団だより

第23号
平成28年3月7日発行

主な記事内容

○消防団長年頭あいさつ……P2
○防災訓練、十和田市消防団視察研修、岩手県消防協会百周年記念式典……P3
○大船渡市消防出初式特集……P4、P5
○叙勲褒章受章祝賀会、新築屯所のご紹介……P6
○ニューフェイス……P7
○消防団員の教養、団員募集……P8

平成28年
大船渡市消防出初式

防火・防災への心構え新たに!!

『無防備な 心に火災が かくれんぼ』
平成27年度全国統一防火標語

編集・発行：大船渡市消防団（大船渡市盛町字木町1-1　TEL0192-27-2119）
大船渡地区消防組合ホームページ　http://www.fd-ofunato.jp/

団長年頭あいさつ

大船渡市消防団
団長
新沼 竹美

輝かしい平成28年の新春を迎え、市民の皆様には謹んで年頭のごあいさつを申し上げますとともに、日頃より消防団活動に対しまして、深いご理解とご協力を賜っておりますことに厚く御礼申し上げます。

さて、平成27年を顧みますと、第1分団第4部（盛町田茂山地域）の消防屯所が、東日本大震災による津波被害からの復旧第1号として6月に落成したのを皮切りに、全ての被災消防屯所完成に向け、復旧工事が続々と着工し始めた1年であります。これもひとえに大船渡市を初めとする関係各位のご尽力によるものであり、あらためて御礼申し上げますとともに、地域防災の拠点でもある消防屯所建設に対し、今後も引き続きご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

昨年の火災につきましては、前年を3件上回る10件の火災件数でありましたが、抑止目標の14件を下回る火災件数となり、死傷者の発生もなく、建物火災6件のうち住宅火災は1件となっております。

このことから、消防の最優先使命である市民の生命・財産を火災から保護する任務は、おおむね目標達成と安堵（あんど）するところであります。特にも、住宅火災の発生が年々減少していることは、日頃の予防活動が実を結んだものと思っております。市民の生活に直接影響する住宅火災ゼロこそ、我々が真に目指す予防消防でありますので、今後も更なる予防活動にまい進する所存です。

また、近年は火災のみならず、国内外において、大型台風の発生や局地的な集中豪雨などによる甚大な被害が発生しております。併せて広範囲に及ぶ巨大地震や大津波などの自然災害の脅威も増大する中、地域防災を担う消防団への期待と信頼はますます高くなっております。我々消防団は、防災の最前線に立つ者として責務の重要性を再認識し、災害に即応できる体制を保持するよう努力を続け、消防の原点である義勇と愛郷の精神のもと、市民の安全と安心の確保に総力を挙げて取り組む覚悟でおります。

結びといたしまして、今後とも我々消防団に対しご指導ご鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げますとともに、市民の皆様のご健勝と、本年が無災害でより良い年でありますことをご祈念いたしまして、年頭のあいさつといたします。

大船渡市消防団1年のあゆみ

二〇一五年（平成27年）
1月20日　三陸町綾里字田浜下地内林野火災
1月25日　三陸町吉浜字千歳地内建物火災
4月1日　消防団幹部辞令書交付式
4月3日　日頃市町字石橋地内建物火災
4月10日　分団庶務担当者会議
4月16日　ラッパ隊辞令書交付式
4月22日　盛町字みどり町地内建物火災
4月26日　部長・班長教養
5月17日　春季消防演習
6月7日　気仙地区支部初任団員教養
7月5日　大船渡市消防操法競技会
7月12日　岩手県総合防災訓練
7月30日　消防後援会連絡協議会総会
8月24日　機関員教養
9月15日　大船渡市防災訓練
10月17日　立根町字関谷地内建物火災
10月23日　三陸町綾里字大畑野地内建物火災
10月27日　分団予防担当者会議
11月1日　猪川町字前田地内車両火災
11月6日　岩手県消防協会　設立百周年記念式典まとい組辞令書交付式
11月9日～15日　秋季火災予防運動・一般家庭査察

12月22日　盛町字東町裏地内車両火災
12月30日　末崎町字山岸地内林野火災
12月31日　三陸町綾里字野形地内建物火災

二〇一六年（平成28年）
1月17日　大船渡市消防出初式
1月23日　第1回団本部夜警視察
2月20日　第2回団本部夜警視察
3月1日～7日　春季火災予防運動・一般家庭査察
3月17日　岩手県消防表彰式（予定）

大船渡市防災（津波）訓練

平成27年9月27日（日）、東日本大震災を教訓に、今後の地震・津波発生時における消防団員の安全管理に対する意識の向上及び、防災関係機関相互の協力体制の確立、併せて消防団活動の検証を目的として、市内全域で防災訓練を実施しました。

『大規模災害によりライフラインが損壊し、建物火災が発生、沿岸部に最大10メートルの津波が来襲した』との想定で行われ、沿岸分団は消防団安全管理マニュアルに従い【20分ルール】に基づき避難誘導訓練、山手分団は建物火災を想定した火災防御訓練を実施、どの訓練も実践的に行われました。

▲建物火災を想定し、火災防御訓練を行う第7分団

青森県十和田市消防団視察研修来訪

平成27年11月7日（土）、青森県十和田市消防団幹部ら20名が大船渡消防署を来訪しました。

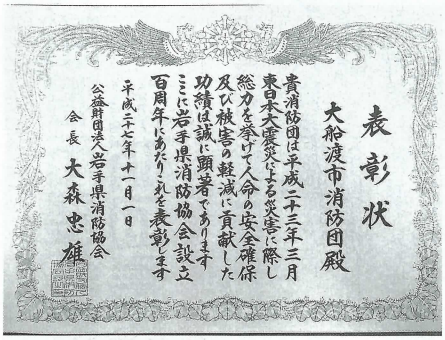
消防団員の資質向上と発展強化を目的とし、大船渡地区消防組合の高機能デジタル消防指令センターやデジタル無線機が配備された消防団車両の説明や見学を行いました。

その後、大船渡市消防団幹部と消防団運営や活動についての活発な討議が行われ、意義ある意見交換会となりました。

▲意見交換を行う新沼竹美団長

岩手県消防協会設立百周年記念式典

岩手県消防協会設立百周年記念式典が、盛岡グランドホテルにおいて挙行されました。式典では、岩手県消防協会長表彰の授与が行われ、大船渡市消防団は、【消防団特別表彰防災功労章】を受賞しました。



表彰状

大船渡市消防団殿

貴消防団は平成二十三年三月東日本大震災による災害に際し総力を挙げて人命の安全確保及び被害の軽減に貢献した功績は誠に顕著であります　ここに岩手県消防協会設立百周年にあたりこれを表彰します

平成二十七年十一月一日

公益財団法人岩手県消防協会
会長　大森忠雄

▲消防団特別表彰防災功労章

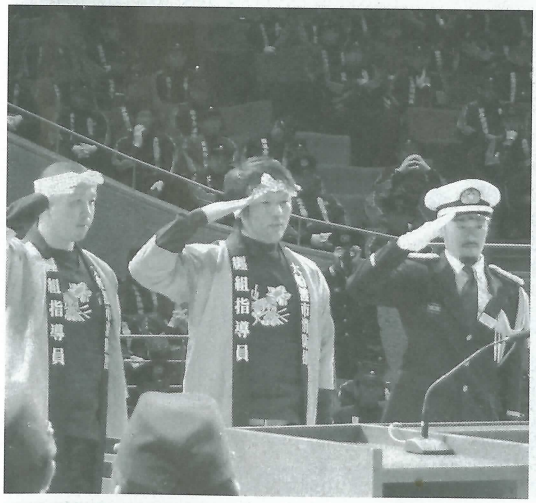
大船渡市消防出初式

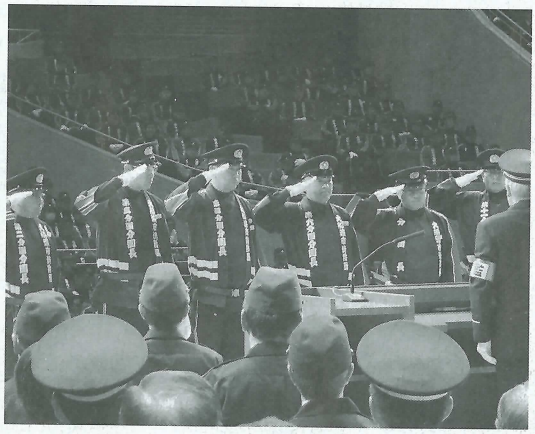
平成28年1月17日（日）晴天に恵まれた冬空のもと、来賓の方々や一般市民、消防関係者に見守られながら、盛町商店街とリアスホールを会場に平成28年大船渡市消防出初式を開催しました。

盛町商店街では、沿道にかけつけた観衆の前で、まとい組の勇壮な掛け声を先頭に分列行進を開始、ラッパ隊の息の合った吹奏に合わせ消防団員、婦人防火クラブ員、車両部隊が沿道から暖かい声援を受け、堂々と行進を行いました。

また、リアスホールで行われた式典では、無火災分団表彰、ラッパ隊員・まとい組員の勤続表彰を行いました。さらに、11月から3ヵ月間にわたり夜遅くまで訓練を積み重ねてきたラッパ隊によるドリル吹奏、まとい組によるまとい振りが披露され、詰め掛けた観衆を大いに魅了しました。

最後に出初式参加者全員で「火の用心」を三唱し、新年の防火、防災の先頭に立つ決意を新たにしました。





大船渡市長表彰・消防団長表彰

消防団長表彰

☆ラッパ隊員

功績証（5年以上在籍）
・斉藤　新吾　・新沼　興
・今野　一洋

☆まとい組員

功労証（10年以上在籍）
・村上　智哉　・及川　将
・村上　渡

功績証（5年以上在籍）
・志田　穣　・新沼　開輝
・伊藤　大寿　・平田　友樹
・鈴木　達也　・奥山　輝行
・川畑　一美

大船渡市長表彰

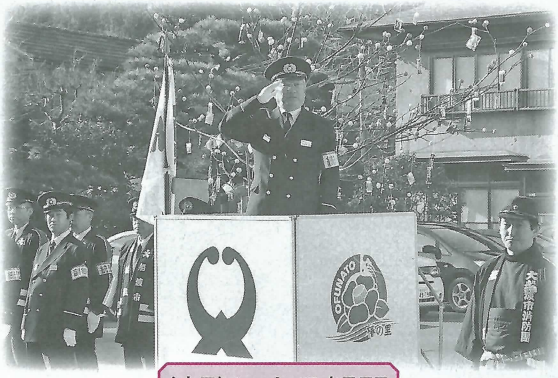
無火災分団表彰

○1期間無火災分団
第2分団（平成26年8月～）
第3分団（平成26年2月～）
第4分団（平成26年4月～）
第6分団（平成26年10月～）
第8分団（平成26年2月～）
第11分団（平成26年2月～）

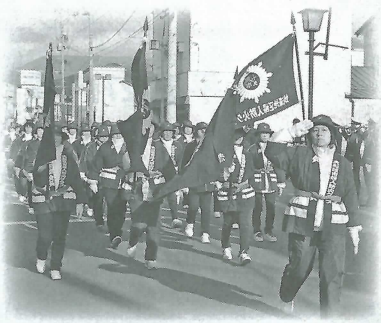
息の合ったラッパ隊の吹奏

行進に華を添えたまとい振り

統監に敬礼

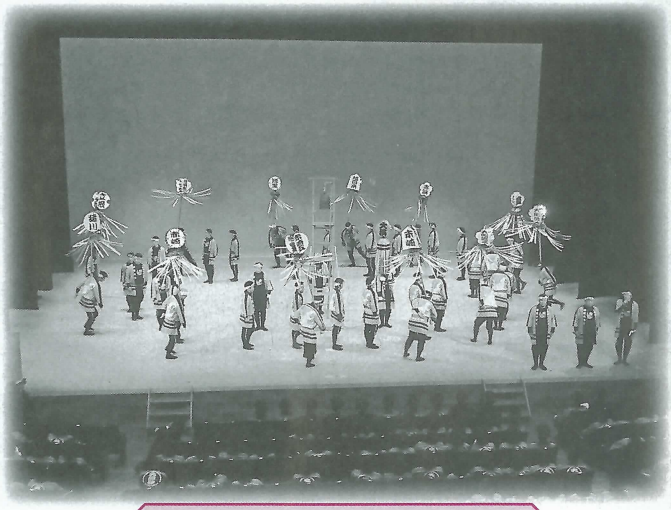


統監による観閲



婦人防火クラブの皆さん

観衆を魅了したラッパ隊のドリル吹奏



勇壮華麗なまとい組の演技

無火達成を祈願しまとい組による三本締め

参加者全員で火の用心三唱

大消友の会『叙勲・褒章受章祝賀会』

平成28年2月10日（水）大消友の会（熊谷章会長）は、平成25年秋から平成27年秋までに、叙勲・褒章を受章された3名と市政功労者1名を招き、祝賀会を開催しました。

市や消防の関係者およそ130人が集まり、長年にわたる功績と栄誉をたたえ、盛大に受章を祝いました。

叙勲・褒章受章者・市政功労者の紹介

平成27年秋の褒章受章者 藍綬褒章（統計調査功績）	平成26年度大船渡市市政功労者 治安功労
及川安雄様	今野武義様
平成25年秋の叙勲受章者 瑞宝双光章（消防功労）	平成27年春の叙勲受章者 瑞宝双光章（消防功労）
新沼幸夫様	田中勘一郎様

平成27年度
大船渡市消防団新築屯所のご紹介

現在、本市では東日本大震災により被災した消防屯所を建設中です。本年度は、18カ所の被災した消防屯所のうち、3カ所の消防屯所が完成しましたのでご紹介します。

▲ 第1分団第4部（田茂山）

▲ 第4分団第5部（泊里）

被災消防屯所建設進捗状況

No.	分団・部・地区	進捗状況
1	第2分団第1部（茶屋前）	建設工事中
2	第2分団第3部（笹崎）	
3	第3分団第1部（下平）	
4	第4分団第1部（細浦）	
5	第5分団第2部（蛸ノ浦）	
6	第6分団第2部（中赤崎）	
7	第11分団第4部（浦浜）	

津波被災地域の復旧、復興整備はもとより、引き続き被災した消防屯所の整備を行っていくところです。これからも皆さんのご理解、ご協力をお願いします。

▲ 第11分団第1部（甫嶺）

ニューフェイス

所属：第１分団第３部
氏名：村上（むらかみ）　真（しん）
年齢：23 歳
趣味：旅、写真、麻雀

抱　　負：色々な方々と交流していきたいです。
先輩から：これから一緒に消防団を盛り上げていきましょう。

所属：第２分団第３部
氏名：新沼（にいぬま）　柾希（まさき）
年齢：21 歳
趣味：野球

抱　　負：若さを生かして頑張ります！
先輩から：即戦力として頼もしい後輩です！先輩達から色々教えてもらい日々精進していきましょう。

所属：第３分団第３部
氏名：新沼（にいぬま）　大介（だいすけ）
年齢：25 歳
趣味：映画鑑賞

抱　　負：分からないことだらけですが、これからよろしくお願いします。
先輩から：気のいい先輩ばかりです。大変なことも多いけれど、苦楽を共に頑張っていこう！

所属：第４分団第４部
氏名：鎌田（かまだ）　勇太（ゆうた）
年齢：21 歳
趣味：釣り

抱　　負：先輩方と地域の安全を守って行きたいです。
先輩から：新入団員が増えとても心強いです。これからも一致団結し、地域のために頑張って行きましょう。

所属：第５分団第３部
氏名：伊藤（いとう）　孝（たかし）
年齢：29 歳
趣味：釣り

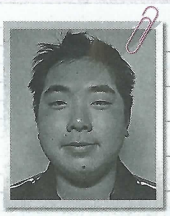
抱　　負：災害の少ない地域にしていきます。
先輩から：地域防災に貢献できるように、頑張っていきましょう。

所属：第６分団第２部
氏名：田代（たしろ）　裕（ゆう）
年齢：28 歳
趣味：釣り

抱　　負：一日も早く慣れたいです。
先輩から：カッコイイ先輩になってください。

所属：第７分団第１部
氏名：新沼（にいぬま）　孝太（こうた）
年齢：25 歳
趣味：スキー

抱　　負：精一杯頑張ります。
先輩から：昨年の操法訓練を手伝う彼を見て、真面目な後輩だと感じました。



所属：第８分団第１部
氏名：鈴木（すずき）　大珠（たいじゅ）
年齢：21 歳
趣味：漫画・小説

抱　　負：色々なことに挑戦して行きたいと思います。
先輩から：共に、消防団活動に精一杯取り組んで行きましょう。

所属：第９分団第４部
氏名：互野（たがいの）　航汰（こうた）
年齢：22 歳
趣味：ゲーム

抱　　負：消防団の活動を通して地域に貢献いていきたいです。
先輩から：地域に貢献できるよう日々精進していきましょう。

所属：第10分団第３部
氏名：千田（ちだ）　祥也（よしや）
年齢：26 歳
趣味：読書

抱　　負：地域に貢献できるよう頑張ります。
先輩から：頼もしい人材が入団してくれました。今後の活躍を期待しています。

所属：第11分団第１部
氏名：川原（かわはら）　慎平（しんぺい）
年齢：19 歳
趣味：釣り、スノーボード

抱　　負：地域のために頑張ります。
先輩から：若いパワーに期待しています。

所属：第12分団第２部
氏名：南羽（なんば）　真人（なおと）
年齢：31 歳
趣味：温泉めぐり

抱　　負：地元に戻ってきてまだ間もないので、ご指導のほどよろしくお願いします。
先輩から：少ない人数で活動していますが、地域防災のため、共に頑張りましょう。

消防団の教養

部長・班長教養

平成27年4月26日（日）シーパル大船渡、大船渡市民体育館で、総勢68名の幹部団員が部長・班長教養を受講しました。

この教養は、部長・班長として現場指揮要領及び活動要領など消防に必要な知識及び技能を修得し、地域住民への防災指導とともに消防団員に対する指導力の向上に資することを目的としています。

本年度は、大船渡消防署員から安全管理・現場指揮について、気仙地方森林組合大船渡支所の細川稔様を講師にチェンソーの取り扱いについて受講しました。午後からは、大船渡市民体育館でＡＥＤを使用した心肺蘇生法、小隊訓練指揮要領を行い、幹部団員のスキルアップを図りました。

▲取り扱い方法を学ぶ幹部団員

気仙地区支部初任団員教養

平成27年6月7日（日）シーパル大船渡で大船渡市・陸前高田市・住田町の新入団員が気仙地区支部初任団員教養を受講しました。

この教養は、消防団員として基礎教養の教習により防火意識の高揚と任務を自覚し、規律ある行動の基礎を養成し、消防諸般の要求に適応できる団員の育成を図ることを目的としています。

本年度は、大船渡市23名、陸前高田市18名、住田町10名の計51名が参加しました。

受講者は若者が多く、規律訓練などには戸惑いながらも機敏な動きと大きな声で取り組み、最後まで講師の話に真剣な眼差しで耳を傾けていました。

▲真剣な眼差しで、規律訓練に励む初任団員

ポンプ機関員教養

本年度の大船渡市消防団機関員教養は、大船渡警察署交通課長の浅田渉様、㈱古川ポンプ一関支店の氏家英人様、㈱モリタ仙台支店の稲田陽介様、トーハツ㈱防災営業部課長の中島俊広様を講師に迎え、シーパル大船渡と盛川河川敷公園を会場に行われました。

この講習会は、消防車両の機関員を対象とし、機関員としての必要な知識・技術および心構えを養い、迅速・的確な機械操作を習得することにより、消防活動の向上を図ることを目的としています。

機械の構造や性能について熟知する良い講習となり、受講した団員は、講師からのアドバイスを受けて、火災現場で迅速なポンプ操作ができるようにと、終始熱心に取り組みました。

▲講師の説明を熱心に聴講する団員

消防団員募集

消防団は、個々の職業を持つかたわら『自分たちのまちは自分たちが守る』という義勇愛郷の精神に基づき、地域の皆さんとふれあいながら安心・安全なまちづくりの実現に努力しています。

◎消防団員の待遇

消防団員は、権限と責任を有する非常勤の地方公務員です。活動中に負傷した場合には、公務災害としての補償が受けられます。また、年額報酬や出動手当、一定期間以上勤めると退職報償金が支給されます。

消防団に興味を持たれた方や、消防団への入団を希望する方は、地域の消防団員、または大船渡消防署・三陸分署・綾里分遣所にその旨をお伝えください。

まちを愛する一人ひとりの力を結集すれば地域の安全は、必ず確かなものになります。

【お問い合わせ】　◆大船渡消防署（TEL 27-2119）◆三陸分署（TEL 44-2119）◆綾里分遣所（TEL 42-2119）

平成27年 火災件数

（平成27年1月1日～12月31日）

火災抑止目標　14件
うち住宅火災の抑止目標　5件

建物火災	6件
林野火災	2件
車両火災	2件
船舶火災	0件
その他火災	0件
合計	10件

編集部より

東日本大震災から間もなく五年が経過し、復旧・復興の整備が進む中、三陸沿岸道路の吉浜道路が開通するなど大きな変化を遂げている大船渡ですが、地域防災の最前線となる消防団の役割は変わることはありません。義勇愛郷の精神のもと、市民の皆様の安心・安全の確保にこれまで以上に努めて参ります。

さて、今回で23号となりました団だよりですが、今年も「平成28年消防出初式」に焦点を当て制作しました。夜遅くまで訓練に励み披露した纏組やラッパ隊は、団員同士の強い絆と地域防災・防火への心構えの強さを感じさせました。

最後になりますが、火の取扱う機会が多いこの時期、消防団では夜間の特別警戒を行っております。署員・団員共々一年間無火災で過ごせるよう予防消防を徹底していきますので宜しくお願いいたします。

（編集　団本部）